

令和8年度

運営に関する計画

大阪市立波除小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

《 学校教育目標 》

人間性豊かな子どもを育てる

《 めざす子ども像 》

- 考える子 …主体的に考え判断する
- やりぬく子…最後まで粘り強くやりぬく
- 仲のよい子…互いを尊重し助け合う

《 波除小学校がめざす教育 》

子どもたちの笑顔が溢れ、考え、一人一人が輝く。(自信につなげる)
誰一人取り残さない信頼される学校をめざして！
・子ども同士がつながる ・体験を通して学ぶ ・研究の継続と改革
・教育環境の整備 ・人権教育の推進

5つの重点

(1)生活指導の充実

きまりの徹底、規範意識 いじめ・不登校対応 心の天気・相談機能の確認
SNSへの対応 集団育成

(2)体験を通して学ぶ

波除の特色ある教育 進んで関わり、学びを実感する 学びを価値付ける

(3)研究の継続と改革

主体的・対話的で深い学び 実践と理論の共通理解 研究・研修の充実

(4)教育環境の整備

居場所の整備と充実 学校全体での美化意識 学校内外の材を生かす

(5)人権教育の推進

自他の尊重 平和教育の推進 多文化理解

現状と課題

安全・安心な教育の推進

- ・児童は学校全体として素直であり、**安心・安全な学校の取組は概ね推進**できている。
- ・学校のきまりを守ることについての**児童の規範意識は低く、指導の徹底が必要**。
- ・外国籍児童の転入、不登校傾向児童の対応、家庭の状況、特別支援教育の他、新たにSNSの使い方
の課題等、**年々児童及び児童を取り巻く状況が多様化**している。
- ・安心・安全な教育の推進に向けて、児童が安心できる集団育成の取組と規範意識の徹底を図ると共に、引き続き、別室環境の整備や保護者・外部との連携、個別案件にも迅速かつ丁寧な対応に努める必要がある。

未来を切り拓く学力・体力の向上

- ・「主体的・対話的で深い学び」支援による授業改善により、**調べたり、考えたりする学習が活性化**してきた。また、表現力の育成に向けて、各学級で話し合い活動の充実に取り組んできた結果、**自分の思いや考えを話したり書き表したりする力が育ちつつある**。
- 今後、一層**学習した知識を活用する等、根拠をもとに表現する力を育成**する必要がある。
- ・令和7年度大阪市経年調査の質問紙調査結果では、「自分で目標を立てること(本校70.4市平均72.9)」、「**学習をふり返る(本校70.8市平均71.2)**」「**学んだことを自分の生活に生かす(本校79.3市平均81.8)**」について、いずれも市平均を下回っているため、指導法のさらなる改善を図り、**子どもにとっての学びの充実**が必要である。
- ・学力の二極化傾向への対策として個に応じた指導に努めたことから、第4区分の児童の学力向上に成果がみられる等、**誰一人取り残さない指導**ができている。今後は、**第2・3区分(ボリュームゾーン)に着目**し、一人一人のよさや可能性を伸ばす指導の工夫により、学力の向上を図る必要がある。

- ・学力の向上に向けて、個別最適な学びと協働的な学びを往還し、「主体的・対話的で深い学び」による授業づくりを一層推進する必要がある。
- ・全国学力・学習状況調査や経年調査の結果からみると、学力は大阪市の平均程度であるにも関わらず、質問紙調査は、市平均を下回る等、児童の自己肯定感が低い。そのため、経年調査等の結果をふまえ、データを根拠にした取組や対策を講じる必要がある。

学びを支える教育環境の充実

- ・友だち等他者を思いやる意識は高まりつつあるが、前項に記載の通り、自己肯定感は低い。
- ・児童は素直で明るい半面、経験や体験の不足により様々な場面における適応力が乏しい。
- ・学校教育目標である「人間性豊かな子ども」の育成に向けて、地域・保護者との連携や外部人材の活用により、様々な経験や体験の充実、平和教育や多文化理解を通して自他の尊重を推進する必要がある。
- ・昨年度末人事異動により、本年度の教職員体制が大きく変化している。そのため、ICT環境の整備と活用の在り方等、様々な教育環境の整備・充実と教職員による共通理解の徹底が必要である。

中期目標

※参考：R7 経年調査数値

【安全・安心な教育の推進】

- ・経年調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目について、肯定的な回答を90%以上にする。※本校83.6%(市平均90.5)が肯定的回答。市平均を大きく下回る。
- ・経年調査における「自分には、よいところがありますか」の項目について、肯定的な回答を90%以上にする。※本校83.7%(市平均86.1)が肯定的回答。自己肯定感は総じて低い。
- ・経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的な回答を90%以上にする。※本校81.3%(市平均83.7)が肯定的回答。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

※参考：R7 経年調査数値

- ・経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の項目について、肯定的な回答を90%以上にする。※本校76.8%(市平均79.3)が肯定的回答。
- ・校内調査における「生活科・社会科の学習は好きですか」の項目について、肯定的な回答を90%以上にする。※校内調査(前期)81.5%(後期)81.5%が肯定的回答。
- ・経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか」の項目について、肯定的な回答を90%以上にする。

※本校88.3%(市平均87.2)が肯定的回答。

【学びを支える教育環境の充実】

※参考：R7 経年調査数値

- ・経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか」の項目について、肯定的な回答を90%以上にする。※本校69.2%(市平均64.7)が肯定的回答。3・4年が高く、5・6年が低い。
- ・「学校園における働き方改革アクションプラン(2026~2029)」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。
- ・はぐくみネットや学校協議会の仕組みの活用、地域・保護者との協働、外部人材の活用により、体験活動の充実を図る。(各学年年間2回実施。)
- ・児童端末の「心の天気」「相談機能」を活用して、児童の状況の適切な把握に努める。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ①経年調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目について、肯定的な回答を85%以上にする。
- ②経年調査における「自分には、よいところがありますか」の項目について、肯定的な回答を85%以上にする。
- ③経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的な回答を83%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ①経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の項目について、肯定的な回答を70%以上にする。
- ②経年調査における「生活科・社会科の学習は好きですか」の項目について、肯定的な回答を75%以上にする。
- ③経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」の項目について、肯定的な回答を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ①経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか」の項目について、肯定的な回答を75%以上にする。
- ②生活科・社会科において、「学習者用端末を活用して、考えを交流したり比較したりする実践」を、年間2回実践する。
- ③「学校園における働き方改革アクションプラン(2026～2029)」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。
- ④月1回のメンター研修、1人10回の授業参観により、若手教員の資質向上を図る。
- ⑤はぐくみネットや学校協議会の仕組みの活用、地域・保護者との協働、外部人材の活用により、体験活動の充実を図る。（各学年年間2回実施。）

大阪市立波除小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安心・安全な教育の推進】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>①経年調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目について、肯定的な回答を 85% 以上にする。</p> <p>②経年調査における「自分には、よいところがありますか」の項目について、肯定的な回答を 85%以上にする。</p> <p>③経年調査における「学校に行くのは楽しいと思えますか」の項目について、肯定的な回答を 83%以上にする。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取り組み内容 1 (1 安心・安全な教育の推進) 規範意識の醸成</p> <p>○看護当番による見守り、教職員による共通理解、児童会等を通じた児童への啓発を通して、学校のきまりを守る意識を高める。</p> <p>○学校の決まり、パソコンを使用するときのルール、そうじのルールなどのきまりを見直し、教職員が共通理解をして児童への指導にあたる。</p> <p>指標</p> <p>・校内調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目について、肯定的な回答を 85% 以上にする。</p>	
<p>取組内容②【2 豊かな心の育成】人権を尊重する教育の推進</p> <p>○特別の教科「道徳」及び教育活動全体を通じて、個性の伸長、国際理解、平和教育をねらいとする実践に取り組み、児童の自己肯定感の育成と向上につなげる。</p> <p>○各学年で平和教育の実践に取り組み、校内人権発表会を行う。</p> <p>○道徳教育、外国人 教育の研修を行い、人権意識を高める教育を推進していく。</p> <p>指標</p> <p>・校内調査における「自分には、よいところがありますか」の項目について、肯定的な回答を 83%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【2 豊かな心の育成】いじめへの対応</p> <p>○いじめの認知について教職員間で共有し、実態の把握と早期発見・解決に取り組み、安心・安全な学校づくりに向けて徹底する。</p> <p>指標</p> <p>・校内調査における「学校に行くのは楽しいと思えますか」の項目について、肯定的な回答を 83% 以上にする</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立波除小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>①経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の項目について、肯定的な回答を70%以上にする。</p> <p>②経年調査における「生活科・社会科の学習は好きですか」の項目について、肯定的な回答を75%以上にする。</p> <p>③経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きですか」の項目について、肯定的な回答を80%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】主体的・対話的で深い学びの推進</p> <p>○課題設定や単元構成を工夫し、児童が個別最適な学びと協働的な学びを往還しながら、対話を通して考えを深める学びの場を充実させることにより、児童の主体性を高め、学びの活性化を図る。</p> <p>指標</p> <p>・校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の項目について、肯定的な回答を70%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】主体的・対話的で深い学びの推進</p> <p>○校内や公開による生活科・社会科の授業や研修会・講演会等を実施することにより、生活科・社会科における効果的な指導や教材研究、授業づくりの在り方を研究し、授業力の向上に取り組む。</p> <p>指標</p> <p>・校内調査における「生活科・社会科の学習は好きですか」の項目について、肯定的な回答を75%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【5 健やかな体の育成】体力・運動能力向上のための取組の推進</p> <p>○児童の運動能力の実態をもとに、「リズムジャンプ」「走ストレッチダンス」「なわとび」に全学年で取り組み、運動を習慣づけるとともに、運動することの楽しさを味わえるようにする。</p> <p>指標</p> <p>・校内調査における「運動やスポーツをすることが好きですか」の項目について、肯定的な回答を80%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立波除小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>①校内調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか」の項目について、肯定的な回答を 75%以上にする。</p> <p>②「学校園における働き方改革アクションプラン(2026～2029)」に基づき、教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 21 時間以下とする。</p> <p>③月 1 回のメンター研修、1 人 10 回の授業参観により、若手教員の資質向上を図る。</p> <p>④はぐくみネットや学校協議会の仕組みの活用、地域・保護者との協働、外部人材の活用により、体験活動の充実を図る。(各学年年間 2 回実施。)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育DX】ICTを活用した教育の推進</p> <p>○長期休業中や日々の宿題等でデジタルドリルを活用した学習を推進する。</p> <p>○ICT研修を実施し教員の ICT リテラシーの向上を図る。</p> <p>○デジタルコンテンツを活用した授業を実施することで、児童が自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりする機会を設ける。</p> <p>指標</p> <p>・校内調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか」の項目について、肯定的な回答を 75%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】教員の資質向上・人材の確保</p> <p>○若手教員が資質向上にむけて、メンター研修等の校内研修の充実を図る。</p> <p>指標</p> <p>・月 1 回のメンター研修、年間 1 人 10 回の授業参観により、若手教員の資質向上を図る。</p>	
<p>取組内容③【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】働き方改革の推進</p> <p>○NO 会議デーや NO 残業デーを設定する等、働き方改革を学校全体で推進する。</p> <p>○会議の精選を図る。デジタルテストの活用等 ICT 活用により業務の効率化を図る。</p> <p>指標</p> <p>・学校園における働き方改革アクションプラン(2026～2029)」に基づき、教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 21 時間以下とする。</p>	
<p>取組内容④【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】教員の資質向上・人材の確保</p> <p>○各学年で年間 2 回以上、体験活動等の実施による外部連携による学習活動に取り組む。</p> <p>○学校行事において、年間に 2 回以上、外部連携による活動に取り組む。</p> <p>指標</p> <p>・校内調査における「波除小学校では、地域の方と学習する機会を設定している。」に肯定的に回答する割合を 80%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	